

平成31年度 みどりと水の地球科 成果と課題

3年生

○成果

昆虫探しは、楽しみながら行うことができた。また、3学期昆虫のお話を聞くことができたこともよかったと思います。

切り干し大根作りは、地域の特産物である大根を育て、切り干し大根を作った。野菜を育てる活動をすることができ、子ども達も意欲的であった。さらに自分たちで育てた大根を切り干し大根にすることで、地域の特産品について知るとともに、作り方の体験することができた。

大根についてさらに調べたことをまとめ、大根の発表会に向けて準備した。

○課題

昆虫について分かったことをまとめることがなかったので、発信する場を設けるとよかった。大根の世話があまりできなかつたので、大根の育ち方などを調べたり、お話を聞いたりできるとよかった。

4年生

○成果

地域の天然記念物である小堤西池のカキツバタ群落を題材に取り上げたことで、子どもたちにとって身近なもので関心をもたせやすかった。

実際に咲いているカキツバタの見学や、除草作業の様子を見ることで、自分たちにとってより身近に感じ、学習することができた。

関心が高まったところで、カキツバタや小堤西池について調べていくことで、大昔から存在していることや先人たちが守り続けていることを知った。

自分たちで調べたり、カキツバタを守る会の方々の話を聞いたりして、カキツバタ群落が大切に守られていることを感じ、自分たちも先人たちのように、未来にこのカキツバタ群落を残していきたい、ずっと美しい花が咲き続けてほしいという強い思いをもつことができた。

カキツバタ群落を守り未来につなげるために、今自分たちにできることを考え実行していこうとすることができた。

○課題

身近な環境について、考え環境破壊にならないような小さなことを実践していこうとすることはできたが、地球規模まで考えることはなかなか難しいと感じた。

5年生

○成果

- ・岩ヶ池は、児童にとって大変身近なものであり、知っているようで知らない部分もあるとても良い教材である。そのため、岩ヶ池の様子を見に行くことで、児童から自然と「池をとりまく環境をきれいにしたい」という思いがでてきた。
- ・竹炭体験から、竹炭も身近にあるものであることを実感できた。また、講師の先生の話から、池をきれいにするために活用していきたいという気持ちを高めることができた。

- ・水質調査キットを使い、水質を調べ、値が変化していくことで、竹炭の効果を実感することができた。

○課題

- ・岩が池の工事が始まってしまったため、今年度は竹炭を池の中へ入れに行くことができなかった。
- ・水質調査を行う薬品のことについて、もっと児童に調べさせたり、専門家から話を聞けたりするとよかった。
- ・実際に池に竹炭を入れるにしても、池の水をきれいにするには、大量の竹炭を入れなくてはならないので、池の水をきれいにするという児童の目的は果たすことができないかもしれない。

6年生

○成果

- ・北っ子の森の環境や歴史について、興味をもって調べることができた。
- ・実際に見に行ったり、1年生を案内したりすることで、より詳しく調べたいという思いをもたせることができた。
- ・刈谷の小学校の中で、森のある小学校は珍しく、誇りをもって調べることができた。
- ・北っ子の森をこれからもきれいに保ち続けたいという思いをもち、そのためにできることを調べることができた。

○課題

- ・今後のためにできることとして、1年生に北っ子の森のすばらしさを伝える予定だったが、コロナ関連の影響によりできなかった。
- ・令和2年度は、北っ子の森の整備をいただいているデンソーの方にお話を聞いたり、講師の方を招いて学年探鳥会を開催したりして、より北っ子の森について関心を高め、学びを深めていきたい。

昨年度は2年生だった為、上記の活動には参加して
いませいか、できに限り学校以外の活動も充実させて
行ってく小のは子供のためにも良いことだと思います。
PTA、保護者も協力して活動を継続していきたいように
努めたいと考えています。
今年度からPTA役員、理事にたから小に方か
来年度に活かせるような仕組みも必要だと感じます。

・大根作り、切り干し大根作り → 自分たちが育てた大根が、お店で買うような
立派な大根に育った事、大根が姿を変えることにより、保存期間が長くなる
事、栄養価が高くなる事にとっても感動していました。又、その工夫が、昔から伝わる
ものだという事、特別な機械や設備がなくても可能だという事を、実体験
を元に知れた事で、より印象深いものとなった様に思っています。
・学校の中の生き物探し、昆虫教室、北子の森に案内する → 自然がたの学校
の特色もあり、1年、2年、3年...と学年が上がる毎に、植物、生き物への興味関心
が高まっている様に思っています。日々の生活の中での関わりがあるからこそ、昆虫教室
のようなより深く専門的なお話を通じて、より深い関わりへのきっかけがくりと返
している様に思っています。

どの学年も、北小の地域に関連があり、例えば4年生のカキツバタ
を学ぶことにより、身近な自然や環境に興味を持つことができるとも
良いと思います。北小は緑の多い学区で、北子の森にも恵まれて
いるので、森での自然学習がもっと取り入れられると良いです。学習
だけでなく、遊びや写生などを森で行うなど、他学年の生徒も
気軽に森や岩ヶ池で自然にふれられることができると良いと思います。

大根とセリフリ大根作りは、普段何気なく食べているものが作られる過程を実際に知ることが出来て良かったと思います。

三河湾の生き物の学習は、蟹や貝などの実物を見せただけでなくお話を聞いて、子どもも楽しかったようです。昆虫教室や学校の中の生き物探しもそうですが、最善は生き物に触れ合える機会が少なく、学校でこのような機会を得られることは子どもたちにとって貴重な経験になると思います。今後も様々な体験を通じ色々なことを学習し、成長していき子どもの姿を見るのを楽しみにしていきます。

富士松北いの学区内には、自然美を維持・保存するために指定された風致地区があり、建物の建築や樹木の伐採が制限され、自然豊かな場所が多く残っています。北いの学習においても、他の小学校ではできない地域の特性を生かした内容をとり入れることは、この学区で育つ子どもたちにとって大切に感じます。この時代の間接体験（インターネット授業、タブレット等）が増えていくことが予想されます。子どもの頃に自然に触れ、社会とのかかわりが「直接体験」をすることで「人間力」を育む基盤が作られると思います。特に自然記念物（セリフリ大根づくり）や炭作り体験、宍ヶ池に関する学習は北いの児童しか体験することができない貴重な体験だと思います。このように地元の利を生かした体験学習は今後も継続してほしいです。

三河湾の生き物の学習は楽しかったと言っていました。手で生き物をこわれたのがよかったです。